

青森県農山漁村「地域経営」人財ネット 登録者情報

氏名 (所在地)

くりやがわ りゅうこ
栗谷川 柳子 (三戸町)



所属等

ノースビレッジ合同会社

略歴等

- 青森県三戸町出身
- 桜美林短期大学英語英文学科卒
- ノースビレッジ合同会社 代表社員
- ジュニア野菜ソムリエ、食生活アドバイザー、あおもり食命人

専門分野、支援実績、プロフィール等

【専門分野】

- 地域の食材、文化を活かす小規模飲食店のモデル作り
- 地域密着型起業家の支援

【プロフィール】

- 2010年5月 地域農業の活性化を目指すノースビレッジ合同会社を創業、県外への農産物流通業を開始。
- 2013年7月 県産野菜果物のみを使用する飲食店「農園キッチンノースビレッジ」(奥入瀬溪流入口)をオープン。
- 2014年4月 食と健康の意識向上をめざす飲食店「きたむら食堂」(八戸市)をオープン。
- 2015年8月 古民家を利用し地域食の継承をめざす飲食店「きたむら茶屋」(南部町)をオープン。同時に起業家のシェアハウスとして提供している。

17年間の会社員生活の後、2010年5月に、地域農業の活性化を目指すノースビレッジ農園合同会社(現ノースビレッジ合同会社)を創業。ミッションは、「地域の宝となる原石(人・物・情報・文化)を掘り起こし宝に変える」。起業家の卵たちの支援をしている。

ミッションは決して変えず、未来の危機を読み、柔軟に事業内容を変化させながら、「大企業や既存のサービスにはないものを創出する」、「地域の一般的な生活者が求めるサービスは何だろう」と、いわば隙間を狙ったビジネスを展開する。地域の中でお金を回し、地域の人々の仕事を作り、地域に希望を配れる企業を目指す。

地元三戸町での地域活性化への取組では、2013年に任意団体「Sannohe de Production」を立ち上げ、若手有志5名でイベント開催や特産品のネットショップの運営、定期的なUstream配信により地元のイベント紹介などを行っている。

その他、2009年に八戸学院大学総合研究所主催起業家養成講座第1期を受講中から、八戸ビッグバレーの開催を立ち上げ、運営委員として活動した。現在も八戸ビッグバレーは継続中である。起業や地域活性を目指す人々の情報交換の場となっている。

【執筆等】

- デーリー東北「私見創見」執筆中（2015～2017年継続）
- NHK ラジオ深夜便 日本列島くらしのたより青森担当

【受賞実績】

- 2015年1月 東北ニュービジネス協議会「ソーシャルアントレプレナー大賞」受賞

ひとことPR等

小さな起業を目指す人を、これまでの経験（成功・失敗ともに）をもって支援していきたい。

好きな言葉は「リーダーとは、希望を配る人のことである（ナポレオン＝ボナパルト）」

連絡先

〒039-0141 青森県三戸郡三戸町川守田字関根川原 12-19

E-mail : r.kuriyagawa@gmail.com